

閣組織ノ大命ヲ拜シタル山本内閣親任式ノ圖双幅ヲ始メ昭和三年ニハ靜物ヲ同六年花蔭亭ノ壁畫ヲ揮毫シ其光榮ニ浴シタルノミナラズ同九年十二月ニハ帝室技藝員ヲ命セラレ今尚職務ニ盡瘁シ功勞著ナリ

美術研究所關係功績

昭和七年六月明治大正美術史編纂委員會委員ヲ囑託セラレ又同十年十月美術研究所官制ノ制定ヲ見ルヤ其所長事務取扱ヲ命セラレ功勞アリ

一般美術界關係功績

明治四十三年東京府主催ノ東京美術及美術工藝展覽會ニハ評議員及委員ヲ囑託セラレ大正十一年佛國ニ於テ官設美術展覽會ノ開設ニ當リ本邦代表的美術品出陳ニ際シテハ事務担任ヲ命セラレテ渡佛シ本邦固有ノ美術ノ紹介ニ盡力スル所アリ 大正十二年朝鮮美術展覽會開設ニ際シテハ審査委員ヲ囑託セラレ同年四月ニハ佛國美術展覽會準備委員ニ舉ゲラレ同八年十月ニハ東京府商店會聯盟第一回店頭裝飾競技會審査長囑託セラル、等一般美術界ニ寄與セシ功勞著シキモノアリ

各種委員關係功績

昭和八年五月ニハ史蹟名勝天然記念物調査委員會委員ニ舉ゲラレ同十年七月ニハ著作權審査會委員被仰付等美術以外ノ部門ニ亘リテモ功勞アリ

官等及位勲〔省略〕

② 芝田徹心校長就任

昭和十一年九月二日、芝田徹心が校長に就任した。芝田は明治十二年二月二十五日三重県生まれ。三重県尋常中学校、第四高等学校を経て東京帝国大学文科大学哲学科に入学。大学院在学中、仏教大で哲学概論およびドイツ語を教え、私塾を経営し、また、順天中学で倫理、英語を、日蓮宗大学、次いで曹洞宗大学で宗教学を、第八高等学校でドイツ語を教えた。明治四十一年同大学院を満期除籍となり、同年第八高等学校教授に就任し、大正十年同校長、昭和二年文部省図書局長、同十年教学刷新評議會幹事兼務となった。本校校長を昭和十五年五月までつとめた後、女子学習院長となる。

③ 小林万吾の海外旅行

教授小林万吾は昭和十一年七月八日、熱帯地方の風物写生のため南洋群島中バラオ諸島へ私費旅行の件が許可され、約一ヶ月間の予定で出発した。

④ 和田三造の海外旅行

教授和田三造は昭和十一年八月十一日、風物写生のため満洲国へ私費旅行の件が許可され、八月十六日から九月十日まで旅行した。

⑤ 羽下修三の海外出張

助教授羽下修三は満洲国における古美術を調査し教育上の資に供することを目的として昭和十一年十二月二十二日から翌十二年一月二十五日まで本校校館費より給費を受けて出張した。